

IP-PTT A906

取扱説明書



j.mobile

目次

[目次]	1
[はじめに]	2
[安全上のご注意]	3
[ご使用前の確認と設定]	6
・本体付属品	6
・各部の名称と機能	6
・microSDカードの取り付け	7
・microSDカードの取り外し	10
・充電(ACアダプタを使って充電する)	13
・電源を入れる	14
・電源を切る	15
・基本操作	16
・画面表示	16
・P.Talkアプリケーション画面	17
・通信中画面	18
[P.Talkアプリケーション基本操作]	19
・交信の方法	19
・通話音量の調節	22
[P.Talkアプリケーション便利機能]	23
・ワンタッチPTT	23
・固定同時待受けグループ	24
[保証と責任]	25
[その他]	26
・主な仕様	26
・ユーザー専用サイト	26
・強化ガラスフィルムの貼り方	26

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は本製品の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を以下のように省略して記載しています。

(例)

ランチャー画面(電源立ち上げ時画面)から、 (アプリアイコン)、 (ナビ) を続けてタップする場合は以下のように記載しています。

1. ランチャー画面で  →「ナビ」

※取扱説明書のすべての内容は、初期設定値を基準に作成されています。

※本書は「P.Talk」アプリについて説明しています。

※本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

※本書では、複数の操作が可能な機能や設定方法について、操作手順がわかりやすい方法を説明しています。

※本書では「A906」を「本端末」と表記させて頂いておりますので、あらかじめご了承ください。

※本書では「リチウムポリマーバッテリー」を「電池」と表記させて頂いておりますので、あらかじめご了承ください。

※本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

※本書のイメージおよび一部機能はソフトウェアの変更(アップグレード)によって予告なく変更および修正されることがあります。

※本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

株式会社J-Mobile

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-5 岩清日本橋ビル 3階

www.j-mobile.co.jp

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくために、重要な内容や守っていただきたい事項を記載しています。各事項は以下の区分に分けて記載しています。ご使用の際には、次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示は、人が傷害を負うことが想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<共通> 本端末、電池、急速充電器セット(USB出力ACアダプタ、急速充電対応USBケーブル、microSIMカード)

危険

-  必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因になります。
-  異常に温度が高くなる場所(暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、車のヒーターの吹き出し口など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因になります。
-  ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。火災、爆発の原因になります。
-  電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因になります。
-  火の中に投入したり、加熱したりハンダ付けしたり分解しないでください。発火・破裂・火災、感電、故障の原因になります。
-  金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際にコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因になります。
-  本機は調整済みです。お客様による分解、改造、修理をして使用しないでください。故障・発火・感電・傷害の原因になります。

警告

-  落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因になります。
-  水や飲料水などで濡れた場合や雨の中や水滴が付着した場合は放置せず拭きとってください。火災、やけど、けが、感電の原因になります。

- ❗ 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。
- ❗ 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、部品には直接触らないでください。けがの原因になります。
- ❗ 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因になります。
- ❗ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因になります。
- ❗ 乳幼児や小さなお子様の手が届かない場所で使用、保管してください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど感電、傷害の原因になります。

注意

- ❗ 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。高温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因になります。
- ❗ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレタ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- ❗ 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災・故障・傷害の原因になります。
- ❗ 外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因になります。
- ❗ 本端末を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因になります。
- ❗ コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- ❗ 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因になります。
- ❗ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ❗ 結露した場合は、電源を切り自然乾燥させて、結露がなくなってからご使用ください。結露がある状態でのご使用は故障の原因になります。
- ❗ イヤホンを使用する時は、音量を下げてください。また必要最小限の音量でお使いください。聴覚障害の原因となることがあります。
- ❗ 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。誤った方向で抜き差しした場合、破損・故障の原因になります。
- ❗ 煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをACコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・事故の原因になります。
- ❗ 異常な音がしたり、異臭がするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用を取りやめて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・事故の原因になります。
- ❗ 過剰な発熱をしている場合は、そのまま使用を取りやめ、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いてください。十分に冷めてから、電源を切り、電池を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ❗ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー・ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。普段は、乾いた柔らかい布でふき、汚れなどがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布を固く絞りふいてください。また、電池を取り外した状態の時は、乾いた柔らかい布でふいてください。電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合になります。

<本端末について>

警告

- ❗ 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。
- ❗ 自動ドア、火災報知機、医用電気機器などの近くで使用しないでください。本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼし誤作動を起こす可能性があり、事故の原因になります。

注意

- ❗ テレビやラジオの近くで送信しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

<電池(JM-60K1B002)について>

危険

- ❗ 火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、車のヒーターの吹き出し口などで使用、充電、放置しないでください。破裂・発煙・発火・火災・液もれの原因になります。
- ❗ 強い衝撃(投げつける、叩きつける、固い場所へ落とす)を与えないでください。破裂・発煙・発火・火災・液もれの原因になります。
- ❗ 端子に直接ハンダ付けや端子間を金属類(針金、ネックレス、鍵など)で接続しないでください。破裂・発煙・発火・火災・液もれ・やけどの原因になります。
- ❗ 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものを電池の上に放置したり、一緒に持ち運んだりしないでください。破裂・発煙・発火・火災・液もれ・やけどの原因になります。
- ❗ 電池を水や海水につけたり、濡らしたりしないでください。また濡れた電池は本体に装着したり、充電をしないでください。破裂・発煙・発火・火災・液もれ・やけどの原因になります。
- ❗ 電池から漏れ出した液が皮膚や衣服に付着した場合や目に入った場合は、傷害や失明をおこす可能性がありますので、こすらずにすぐに綺麗な水で洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。

<充電用機器について>

警告

- ❗ 指定以外の電源・電圧でのご使用はしないでください。正常な充電がされず発熱・発火・火災・感電などの原因になります。

注意

- ❗ 湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。
- ❗ 充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。発熱・発火・火災・感電などの原因になります。
- ❗ 本端末から電池を取り外した状態で充電用機器を本体に差したまま放置しないでください。発熱・発火・火災・感電などの原因になります。

ご使用前の確認と設定

本体付属品

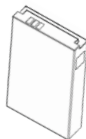
本体



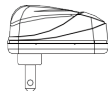
電池カバー



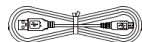
電池
(リチウムポリマー)



急速充電器セット
(USB出力ACアダプタ)



(急速充電対応USBケーブル)



- ☐ 強化ガラスフィルム
- ☐ 取扱説明書
- ☐ 保証書
- ☐ 製造番号ラベルシール

各部の名称と機能



1	外側カメラ
2	ライト
3	音量キー (+) / 音量を上げます。
4	PTTキー / P.Talk送信時に使用します。
5	音量キー (-) / 音量を下げます。
6	会議モードボタン / 会議モードのON・OFFの切替ができます。ONの時はステータス表示バーに「  」が表示。
7	電池カバー固定ネジ / 電池カバーを固定・解除ができます。(時計回りで固定、反時計回りで解除)
8	内側カメラ
9	ホームキー / ランチャー画面へ戻ります。
10	メニューキー / 各項目のメニューを開きます。
11	下部マイク(初期設定OFF)
12	下部スピーカー(初期設定ON)
13	確認キー
14	十字(左右上下)キー
15	Fn(ファンクション)キー / グローブモードの設定ができます。
16	戻るキー / 1つ前の画面へ戻ります。
17	上部マイク(初期設定ON)
18	上部スピーカー(初期設定OFF)
19	近接/照度センサー
20	インジケータLED / 充電中の状態や通知の有無などをお知らせします。※1
21	チャンネルキー (-) / グループ切替(下げる)ができます。
22	プログラマブルキー / スリープモードの解除、呼出モード切替(2秒)・緊急モード(5秒)のショートカット動作を設定できます。
23	チャンネルキー (+) / グループ切替(上げる)ができます。
24	13pinアクセサリ端子 / オプション品(オーディオアクセサリ)の接続ができます。
25	microUSB端子 / 充電時、パソコンとの接続時に使用します。
26	電源ボタン / 電源のON・OFFや再起動、スリープモードの解除および機内モードの切替ができます。

※1 LEDインジケータ
 赤色/送信中、充電中
 青色/受信
 緑色/充電完了

microSDカードの取り付け

- ・SDカード未装着の状態でも、本端末はご利用いただけます。
- ※ 取り付け/取り外しは、本端末の電源を切り、ディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。
- ※ 電池カバーの取り付け/取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。電池カバーが破損することがあります。
- ※ 本端末は、microSDカード(2GBまで)およびmicroSDHCカード(32GBまで)に対応しております。ただし、市販されている全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

- 1.本端末背面の電池カバー固定ネジを押しながら①の方向に回して固定解除する。



<固定>



<固定解除>



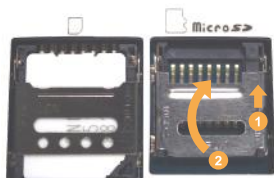
- 2.電池カバーの①の部分に指先またはマイナスドライバーのようなものをかけて、②の方向へ少しづつ持ち上げて、取り外す。



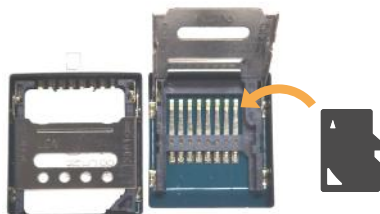
- 3.電池カバーを①の方向へ少しづつ持ち上げて、取り外す。



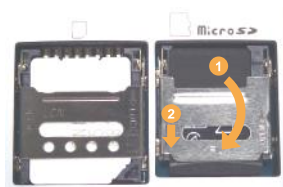
- 4.右側のmicroSDスロットを①の方向へ押しながらスライドしロックを解除し、下側を持って②の方向に開く。



5. microSDカードの金属端子面を下にして、microSDスロットへ挿入する。



6. ①の方向へ下げたあと、②の方向へ押しながらスライドさせロックする。



7. 電池の金属端子部分と本端末の金属端子部分を合わせて、①の方向へ押し電池を装着する。



8. 本端末の凹みに電池カバー凸部分を確実に合わせて、①の方向へカチッと鳴るまで押し。



○部分をしっかり押し、
本端末と隙間がないことを
確認してください。

9.本端末背面の電池カバー固定ネジを押しながら①の方向に回して固定する。



<固定>



<固定解除>



microSDカードの取り外し

・SDカードを装着していない場合でも、本端末はご利用いただけます。

※ 取り付け/取り外しは、本端末の電源を切り、ディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。

※ 電池カバーの取り付け/取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。電池カバーが破損することがあります。

※ 本端末は、microSDカード(2GBまで)およびmicroSDHCカード(32GBまで)に対応しております。ただし、市販されている全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

1.本端末背面の電池カバー固定ネジを押しながら①の方向に回して固定解除する。



<固定>



<固定解除>



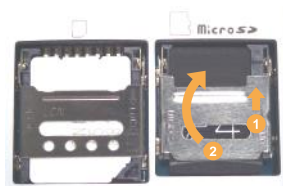
2.電池カバーの①の部分に指先またはマイナスドライバーのようなものをかけて、②の方向へ少しづつ持ち上げて、取り外す。



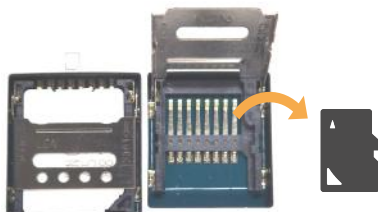
3.電池を①の方向へ少しづつ持ち上げて、取り外す。



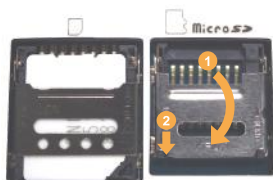
4.右側のmicroSDスロットを①の方向へ押しながらスライドしロックを解除し、下側を持って②の方向に開く。



5.microSDスロットから、microSDカードを引き出す。



6.①の方向へ下げたあと、②の方向へ押しながらスライドさせロックする。



7.電池の金属端子部分と本端末の金属端子部分を合わせて、①の方向へ押し電池を装着する。



8.本端末の凹みに電池カバー凸部分を確実に合わせて、①の方向へカチッと鳴るまで押す。



⦿ 部分をしっかりと押し、本端末と隙間がないことを確認してください。

9.本端末背面の電池カバー固定ネジを押しながら①の方向に回して固定する。



<固定>



<固定解除>

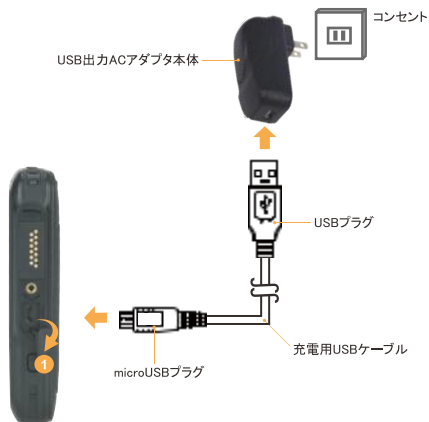


！ お知らせ

- ・ microSDカードを取り外すときは、microSDカードが本端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- ・ microSDカードを無理に取り付けたり取り外したりすると破損することがありますのでご注意ください。

充電(ACアダプタを使って充電する)

- ・急速充電器セットを使用して充電する方法を説明します。
- ・急速充電器セットはUSB出力ACアダプタ本体と急速充電対応USBケーブルで構成されています。



1. 本端末のUSBカバーを①の方向に引き出す。
2. 本端末の充電端子に、充電用USBケーブルのmicroUSBプラグの向きを正しく合わせて矢印の向きに水平にしっかり差し込む。
3. 充電用USBケーブルのUSBプラグをACアダプタ本体のUSBコネクタへ向きを正しく合わせて矢印の向きに水平にしっかり差し込む。
4. ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む。
5. 充電が完了したら、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く。
6. ACアダプタ本体から充電用USBケーブルのmicroUSBプラグを水平に抜く。

電源を入れる

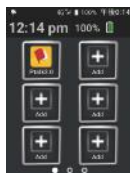
1. 本端末の電源ボタン(①)を2秒以上押す。
ー 起動画面が表示され、注意に関するポップアップが表示(2.)されます。



2. 注意に関するポップアップ表示 → 「OK」
ー ランチャー画面が表示(3.)されます。



3. ランチャー画面が表示(受信可能状態)されます。
ー 通信可能状態になるまで約70秒程度かかります。(起動時間は通信環境により変動します。)



電源を切る

1. 本端末の電源ボタン(①)を1秒以上押す。
- ポップアップ画面が表示(2.)されます。



2. 「電源を切る」 → 「OK」
- 電源が切れます。



基本操作

【ディスプレイ(タッチスクリーン)の使い方】

・本端末のディスプレイ(タッチスクリーン)は、指で触れて操作ができます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

- タップ
表示項目やアイコンなどを指で軽く触れ選択・実行します
- スクロール
表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。
- ロングタップ
表示内容やアイコンなどを1秒以上指で触れ続けて、メニューなどを表示します。
- スワイプ
表示画面を指で軽くなぞる動作です。

【画面表示内容を画像として保存する】

・本端末のディスプレイに表示中の画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。

1. 画像として保存したい画面を表示
2. 音量キー(—)と電源ボタン  を同時に1秒以上押す。
※画像が保存されると、ステータスバーに  が表示されます。

画面表示

【主なアイコン】

・本端末のディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

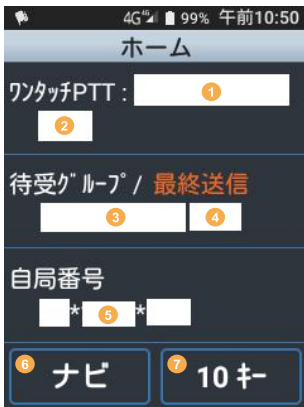


	P.Talk サーバー接続中		P.Talk サーバー未接続 (P.Talk はお使い頂けません)
	返信要求受信時 ※「応答発信」または「後で応答発信」で消えます		グローブモード設定中 * タッチパネル感度を最適化します
	接続ネットワークタイプ LTE(4G) ネットワーク		接続ネットワークタイプ 3G ネットワーク
	LTE(4G) 電波受信レベル (弱 ⇄ 強)		3G 電波受信レベル (弱 ⇄ 強)
	会議モード設定中		機内モード設定中
	マナーモード設定中		位置情報機能 ON ※LBS アプリ起動時のみ表示
	電池レベル「%」表示		電池レベル (低 ⇄ 高)
	LBS(位置情報サービス)アプリ起動中		現在時刻を表示
	Bluetooth 機能 ON		Wi-Fi 接続中

P.Talkアプリケーション画面

【ホーム画面】

・P.Talkアプリケーションの自局の設定状況が確認できます。



- 1 待受け/スリープ時にPTTボタンを押した時に発信する先の設定項目
- 2 待受け/スリープ時のPTTボタンを押した時に発信する先
- 3 固定同時待受け(受信可能)グループに設定されているグループ番号
- 4 自端末から送信した最後のグループ番号
※自動的に同時待受け(受信可能)グループとなります
- 5 自端末の個別番号情報
※「A」*「B」*「C」の表示意味
A/サービス種別番号(P.Talkサービス番号『40』)
B/フリート番号(ユーザー独自管理番号)
C/自局PTT番号
- 6 ナビ画面へ切替
- 7 10キー画面へ切替

【ナビ画面】

・P.Talkアプリケーションのショートカット項目の内容が確認できます。



- 1 送受信履歴
- 2 登録されているグループリストの確認
- 3 登録した個別PTT番号リストの確認
- 4 登録したよく使用する個別PTT番号の確認
- 5 ホーム画面へ切替
- 6 10キー画面へ切替

通信中画面

【送信中】

・自端末が送信している時の画面表示



【回線保持中】

・送信者がPTTキーを離れた時の画面表示



【受信中】

・受信時の画面表示



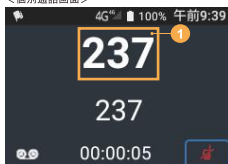
自端末または相手局が、PTTキーを離してから約5秒間はその通信(回線)を保持しています。その間にどちらかがPTTキーを押すと通信を保持しているため、通話がスムーズに行えます。自端末および相手局がPTTキーを離れた状態(待受け状態)が約5秒以上続くと保持終了となります。再度、通話を再開したい場合は、呼出相手を確認のうえPTTキーを押してください。

【表示内容】

<グループ通話画面>



<個別通話画面>



- 1 通信中のグループまたは個別PTT番号を表示
※名称登録されている場合は名称表示
- 2 グループ通信中の受信している端末の台数を表示
※カッコ内の数字
- 3 通信中のグループまたは個別PTT番号を表示
※名称登録されていた場合でも番号表示
- 4 通信内容の録音機能が設定されている場合に表示
※録音機能がOFFの場合は非表示
- 5 通話時間を表示
<連続送信可能時間>
・グループ送信(1分)/個別送信(5分)
※連続送信可能時間に達する10秒前に鳴音通知します。
※連続送信可能時間に達すると自動切断します。
- 6 強制離脱アイコン
※通信中にタップすることで、通信を切断します

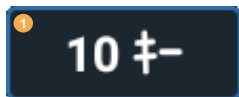
P.Talkアプリケーション基本操作

交信の方法

【10キーを使用してグループ送信する場合】

・グループに送信する場合について説明します。

- 1.ディスプレイ下部の10キーアイコン(①)をタップ



- 2.10キーで#(①)をタップ → 呼び出したいグループ番号(②)をタップ



- 3.[PTTキー](①)を押しながら、接続音が鳴音してからマイクに向かって通話グループに呼びかけ

- ・[PTTキー]を押しているあいだ(送信中)は、インジケータLEDが赤色に点灯します。
- ・マイクと口元は約10cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、相手に聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。



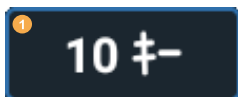
- 4.通話終了後は[PTTキー]を離す → 回線保持中(約5秒) → 待受け状態

- ・相手局が送信すると、受信した音声が入ります。

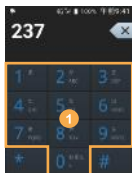
【10キーを使用して個別送信する場合】

・個別呼出する場合について説明します。

1.ディスプレイ下部の10キーアイコン(①)をタップ



2.10キーで呼び出したい個別番号(①)をタップ



3.[PTTキー](①)を押しながら、接続音が鳴音してからマイクに向かって通話グループに呼びかけます。

・[PTTキー]を押しているあいだ(送信中)は、インジケータLEDが赤色に点灯します。

・マイクと口元は約10cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、相手に聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。



4.通話終了後は[PTTキー]を離す → 回線保持中(約5秒) → 待受け状態

・相手局が送信すると、受信した音声が入ります。

音声通話形態

交互通信となります。送信と受信を交互に切り替えて通話します。

連続送信について

[PTTキー(送信)]が押し続けられた場合、押し続けられる場合、不用意な送信を防止するために、連続送信には通話時限が設定されています。

・グループ連続送信は1分を超えると自動的に送信を停止します。

・個別連続送信は5分を超えると自動的に送信を停止します。

通話を再開する場合には、再度[PTTキー(送信)]を押してください。

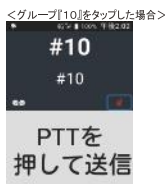
【ナビ画面:グループ/連絡先からグループ/個別送信する場合】

・ナビ画面:グループ/連絡先からグループ/個別呼出する場合について説明します。

1.ナビ画面のグループ(①)/連絡先(②)アイコンをタップ



2.表示されているグループ(①)/連絡先(②)から呼び出したいグループ・連絡先を1つタップ



3.[PTTキー](①)を押しながら、接続音が鳴音してからマイクに向かって通話グループに呼びかけます。

- ・[PTTキー]を押しているあいだ(送信中)は、インジケータLEDが赤色に点灯します。
- ・マイクと口元は約10cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、相手に聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。



4.通話終了後は[PTTキー]を離す → 回線保持中(約5秒) → 待受け状態

- ・相手局が送信すると、受信した音声がかかります。

※ナビ画面/連絡先から個別呼出をする場合は、事前に連絡先の登録が必要となります。

【回線保持中に返信する場合】

・グループ/個別通信時に返信する場合について説明します。

1.「受信中」画面から「回線保持中」画面に切り替わり変わるのを確認



2.[PTTキー]①を押しながら、接続音が鳴音してからマイクに向かって通話グループに呼びかけます。

- ・[PTTキー]を押しているあいだ(送信中)は、インジケータLEDが赤色に点灯します。
- ・マイクと口元は約10cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、相手に聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。



3.通話終了後は[PTTキー]を離す → 回線保持中(約5秒) → 待受け状態

通話音量の調節

・通信中に通話音量を調節する場合について説明します。

1.受信中に音量を上げる場合は、音量キー(+)(①)を押す
受信中に音量を下げる場合は、音量キー(-)(②)を押す



P.Talkアプリケーション便利機能

ワンタッチPTT

【ワンタッチPTTの設定変更方法】

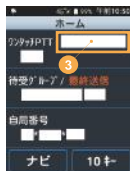
・待受け/スリープ状態でPTTキーを押した時に送信する先の設定変更方法について説明します。
※出荷時のデフォルト設定値/直近履歴

1. ホーム(①)/ナビ(②)画面でメニューキー(③)をタップ



2. ワンタッチPTT(①) → 設定したい項目のチェックボックスをタップ(②)

※設定した内容はホーム画面(③)でも確認できます。



<設定変更項目>

【直近履歴】 出荷時デフォルト値

・直近の送受信履歴の先を呼び出し

【指定グループ】

・グループ登録されている中から1つ選択した先を呼び出し

【指定PTT番号】

・連絡先登録されている中から1つ選択した先を呼び出し

【オフ】

・呼び出しできません

※受信した通信で「回線保持中」の間の返信はできます

【固定同時待受けグループの設定方法】

・P.Talkアプリケーションでは、最大4つまで切替することなく受信できます。この受信可能なグループを最大3個まで固定できます。本機能の主な設定/解除方法について説明します。

1. ナビキー(①) → グループアイコン(②)



2. 固定登録したいグループをロングタップ

- ・固定登録されたグループ名称の左側に  マークが表示
- ※同時待受けグループの状態はホーム画面(③)でも確認できます。



 マーク表示は、最終送信グループ(同時待受けグループ)

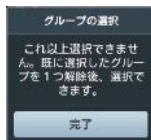
【固定同時待受けグループの解除方法】

1. 固定解除したいグループを再度ロングタップ

- ・固定登録されたグループ名称の左側の  マークが消えます

！ 備考

- ・強制一斉グループ『#99』をお申し込んでいる場合は、固定同時待受けグループ登録可能数は最大2個までとなります。
- ・固定登録の上限(3個)を超えて設定をしようとした場合は下図がポップアップ表示されます。設定変更をする場合は、設定済みグループを解除し改めて設定作業を実施してください。



保証と責任

1. 保証対象および保証期間

当社は、正常な使用状態で下記の IP-PTT 無線機器 A906(以下「製品」といいます)の材料上または製造上の欠陥に対し、お買い上げ日より以下に示す保証期間内の保証を行います。

IP-PTT無線 A906 本体 ・ ・ ・ ・ 1 年間

当社は本保証規定に従い、保証期間内は無料で製品の修理、交換をいたします。本体の保証期間に関しましては、お客様がご購入になった製品の保証期間で算定されます。交換した製品または部品は当社の所有となります。本保証書は製品ご購入者に限り有効であり、第三者に譲渡されるものではありません。
当社と製品ご購入者との間で個別の同意がない限り、当社は製品の取付、メンテナンスまたはサービスの保証は行いません。当社は、製品の装着または接続して使用されている当社供給以外のアクセサリを使用した製品の運用に対し、いかなる責任も負いません。通信システムで本製品が使用される場合、当社は、そのシステム全体、サービスエリア、運用などをまとめて本保証規定で保証するものではありません。

2. 保証規定

本保証書は、製品に対する当社の責任と保証を定めたもので、一切の保証は保証期間内に限定されます。当社当該製品の使用もしくは不使用に起因するご購入者の被る逸失利益、業務の中断、機会の損失やこれらに類する損害、または二次的損害などについての責任を負いません。

3. 保証サービスを受けるには

保証サービスを受けるためには、保証書(お買い上げ日、お客様名、販売店名、住所、電話が明記されており、製造番号ラベルシールが貼付されているもの)を添えて、お買い上げの販売店までご持参または郵送してください。送料、保険はお客様のご負担になります。

4. 保証期間内であっても以下の場合には、有料となります。

- (1) 保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名、住所、電話の記入捺印がない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) お買い上げ後の輸送、事故、落下等による故障または損傷。
 - (4) 火災、地震、落雷、水害、塩害、公害、その他の天災地変および異常電圧、指定外の電源使用等による故障または損傷。
 - (5) 説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いや使用上の誤り、不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (6) 消耗品が自然消耗、摩耗等により劣化した場合。
 - (7) 製造番号が取り除かれた、または製造番号の判読ができない製品。
 - (8) 製品の運用に影響を与えない、製品の表面についた傷、または外観上の損傷。
 - (9) 本来の目的以外に使用された場合の故障又は損傷。
 - (10) 本製品以外の機器や設置環境・電波障害に起因する故障または損傷。
 - (11) お客様の要望による出張修理の際の出張費用。
 - (12) 修理品の発送に対する送料。
 - (13) 保証期間を過ぎた補償請求。
 - 防塵 / 防水性能を保証している製品においても次の場合は有料となります。
 - (14) 雨の中、水滴が付着した状態、もしくは濡れた手で電池やオーディオアクセサリの付け外し作業を行った場合。
 - (15) 海水や砂、泥、洗浄液、洗剤等が本体に付着したまま放置した場合。
 - (16) 落下等外的衝撃により、樹脂変形、歪み、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じた場合。
 - (17) 弊社が定める指定アクセサリ品以外を使用した場合。
 - (18) 本端末金属端子部の腐食による故障または損傷。
 - (19) 使用温度範囲外で使用した場合。
 - (20) 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置した場合。
 - (21) 本製品を分解または改造した場合。
- 以下の場合は、修理ができないことがあります。
- (22) 本端末と電池、別売アクセサリを接続するコネクタ間に微細なごみ(糸くず、毛髪、砂等)が挟まっている場合
 - (23) お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基盤が破損・変形していた場合
 - (24) 外部接続端子、ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合

5. 部品の保有期間

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービス (info@j-mobile.co.jp) にお問い合わせください。

6. 本保証書は日本国内のご使用においてのみ有効です。

7. 登録情報、ダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについては当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービス (info@j-mobile.co.jp) にお問い合わせください。

主な仕様

OS	Android 5.1(JoJipop)
無線通信仕様	3G/LTE
寸法 (W/H/D)	約 62 × 120 × 24mm
重量	約 200g (JM-60K1B002/ 電池装着時)
電源	- 急速充電器セット：出力5V-2A (USB出力ACアダプタ/急速充電対応USBケーブル) - 電池：リチウムポリマー、2800mAh、定格3.8V - 充電時間：約2.5時間(弊社純正の急速充電器セット使用時)
運用可能時間	送信：受信：待受け(5:5:90) 約12時間
温度環境	動作環境温度 -20℃～60℃、保存環境温度 -30℃～70℃
防塵・防水性能	IP67相当
Bluetooth	Bluetooth4.0 with BLE
Wi-Fi	IEEE802.11 b, g, n
GPS	受信周波数GPS L1 (C/Aコード)
言語	日本語、英語
カメラ	内側カメラ 200万画素 外側カメラ 800万画素

! この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

ユーザー専用サイト

ユーザー専用サイトでは、本製品をご導入いただいたお客様向けの情報サイトです。本端末の運用マニュアル・取扱説明書や保守/障害情報などを掲載しております。

アドレス <http://www.j-mobile.co.jp/user/>

強化ガラスフィルムの貼り方

1. 貼り付け前にフィルムの貼り付け位置を液晶に合わせて確認します。
※フィルムの上下(ロゴマークがある方が下側)が逆にならないようお気をつけ下さい。
2. 液晶部貼付済みの表面保護フィルムおよび液晶保護フィルムの2枚をはがします。
※表面保護フィルムは剥離用帯を手前に引きながらはがしてください。
※液晶保護フィルムはセロハンテープなどの粘着面を使って、はがしてください。
3. 汚れがある場合は布などを使い液晶画面のパネル全体をふき取り、綺麗にします。
※強い力で拭かないでください。液晶画面を傷める原因となります。
4. ホコリがある場合はセロハンテープなどの粘着面を使って、取り除きます。
5. 強化ガラスフィルムを剥離フィルムからはがします。
6. あらかじめ確認した液晶画面のパネルの端に強化ガラスフィルムを合わせ、空気やホコリなどが入らないように注意しながらゆっくり貼り付けます。



j.mobile

www.j-mobile.co.jp